

総務省における行政事業レビューの 一層の取組について～主な改善点～

平成26年4月14日

総務省行政事業レビュー外部有識者会合事務局

1. はじめに

- 今後の行政事業レビューの取組については、去る3月14日に開催された第10回行政改革推進会議において、「各府省の自律性の強化」や「外部性の強化」を主眼とした今後の改善策が取りまとめられた。〈参考資料1、2〉
- 総務省においても、自律的な取組体制の強化等を盛り込んだ「平成26年度総務省行政事業レビュー行動計画」を策定したほか〈参考資料3〉、外部性の強化に資するため、関係規程類の見直しを実施〈参考資料4、5〉。【 ⇒ 主な改善点は次頁のとおり。】
- このうち、外部性の強化については、

○点検対象事業の選定に当たっては、客観性を向上させ、より効果的な点検が可能となるよう、外部有識者会合を活用し、選定の考え方について外部有識者の理解を得て選定を行う。

○公開プロセス候補事業の選定に当たっては、客観性を向上させ、公開検証が望ましいと判断されるものが国民の視点で選定されるよう、外部有識者会合を活用し、外部有識者から意見聴取等を行った上で選定を行う。

ことなどを実施することとしており、引き続き、「総務省行政事業レビュー外部有識者会合」のご協力の下、無駄の削減や国民に信頼される質の高い行政の実現に取り組む。

2. 行動計画の策定

- チームによる厳格な点検・指摘が確実に実施されるよう、チームの取組である次の事項について、具体的な取組の内容やその取組の担当者をチームで決定し、それを行動計画に位置付ける。
 - ① 所管部局によるレビューシートの適切な記入及び厳格な自己点検の指導
 - ② 外部有識者の点検を受ける事業の選定及び外部有識者からの点検結果の聴取
 - ③ 外部有識者による公開プロセスの対象となる事業の選定及び点検結果の聴取
 - ④ 上記①～③を踏まえた事業の厳しい点検(サマーレビュー)及び点検結果(所見)の取りまとめ
- 行政事業レビューと政策評価双方の有識者の情報共有を徹底した上で合同会合を開催(4回程度開催する予定)。



「平成26年度総務省行政事業レビュー行動計画」に反映。

3. レビューシートに記載事項の見直し

- アウトカム（成果目標及び成果実績）及びアウトプット（活動指標及び活動実績）の記載に関しては、必ず何らかの指標を設定することとし、「定量的な指標設定が困難」な旨だけを記載しないようにする。
- 事業の効果や効率化がどの程度進んでいるのかなど経年での変化についても記載する。



レビューシートの様式を一部改正し、記載要領も改正。

4. 外部有識者による点検の強化

- 点検対象事業の選定に当たっては、客観性を向上させ、より効果的な点検が可能となるよう、外部有識者会合を活用し、選定の考え方について外部有識者の理解を得て選定を行う。



「総務省における行政事業レビューに係る外部有識者による点検実施要領」の一部を改正。

5. 公開プロセスにおける外部性の強化

- 公開プロセス候補事業の選定に当たっては、客観性を向上させ、公開検証が望ましいと判断されるものが国民の視点で選定されるよう、外部有識者会合を活用し、外部有識者から意見聴取等を行った上で選定を行う。
- 公開プロセスの選択肢について、事業の存続自体を問題とする場合の選択肢として、「廃止」を追加する。
- 公開プロセスの評価結果のとりまとめに当たり、評語が分散した場合等には、改めて時間を取って外部有識者間で議論し、一つの結論を出すことを目指す



「総務省における行政事業レビューに公開プロセス実施要領」の一部を改正。

6. 優良改善事業の選定

- 自主的な事業改善の取組については、レビューシートの所定の欄にその具体的内容を記載する。また、良い取組については積極的に評価し、省内に普及させていく。合わせて、当該取組を行った職員の人事評価に適切に反映するように努める。



レビューシートの記載要領を改正。また、人事評価への反映については、人恩局において対応。

7. 充実した若手職員の研修の実施

- 予算に対する公務員の意識改革や政策立案能力の底上げを図る観点から、レビューを活用した若手の研修を充実させる。



人事院と内閣官房行政改革推進本部がそれぞれ実施予定。

8. 基金シートの対象の拡大

- 地方公共団体への補助金等により造成された基金の執行状況等についても資料を作成し、公表する。



「平成26年基金シート作成要領」等により指示。